

議会だより



なかさつない



日高山脈国立公園園化P R事業 ～札幌川ダム見学（8月12日）～

9月定例会

令和2年度決算審査	P 2～5
一般質問～5人の議員が登壇～	P 6～8
補正予算・その他	P 9～10

第4回・第5回臨時会	P 11～13
------------------	---------

閉会中の議会活動について、議員のひとこと ...	P 14
--------------------------	------

令和2年度一般会計の歳入決算額は前年度比13億3,867万円増の76億6,493万円となり、歳出決算額は前年度比15億3,873万円増の70億2,713万円となりました。

また、ふるさと納税事業、産地パワーアップ事業補助金、高度無線環境整備推進事業負担金など、13事業の翌年度への繰越額は5億893万円となりました。歳入・歳出の大幅増の要因は、新庁舎建設工事や消防庁舎増改築工事の実施、特別定額給付金の給付、新型コロナウイルス対策に係る費用によるものです。

基金残高は一般会計と特別会計を合わせて34億7,515万円で、前年度より1億4,813万円の減少となりました。一般会計の地方債残高は46億6,541万円で、前年度より5億8,810万円の増加となりました。

中札内村議会9月定例会は、9月9日に招集され、会期を17日までの9日間とし、9日には意見書2件、報告1件、議案11件を審議し、原案どおり可決しました。

また、令和2年度各会計決算の認定6件については、13日と14日の2日間、本会議で審議され、全て認定されました。

17日には、請願1件を採択し、追加提案の報告1件、議案1件を審議し、原案どおり可決しました。

その後、5人の議員が一般質問を行い閉会しました。

ふるさと納税

ふるさと応援寄附金 7億5,983万円

◆ふるさと納税返礼品の状況

問 ふるさと納税の関係で、発送が滞っていた返礼品の状況は。また、今後の見通しは。

答 豚肉の発送状況については、現在2か月待ちの状態。今後は1か月以内に順次発送できる見込となっている。

◆支援サービスの増額の要因

問 ふるさと納税支援サービス使用料が昨年と比較して倍ぐらいいに増えているが要因は。

答 この使用料は管理システムの使用料とサイトの使用料である。管理システム使用料については、令和元年度は年度途中から導入していることから、令和2年度は増額となっている。サイトの使用料については、『ふるさとチョイス』のサイトにおいて、令和元年度は定額であったが、令和2年度から寄附額に応じたものに変更となったことから、サイト使用料が増額している。

「ロッカノヨル」村民の声

六花の森イベント事業補助金 70万円

◆「ロッカノヨル」の目的は

問 村民から名前を変えてでも六花の森でイベントをやるのかという声があるが、行う意味は。

答 村の観光施設として、全国的にも知名度が高い企業が行っている観光施設でもあるので、この知名度を生かして村外からたくさんの方を呼び込みたいという考えである。一般の公園とはその部分が大きな違いだと考えている。

北海道十勝地域と東京たいとう・すみだ連携交流事業 34万円

◆活動の内容は

問 どのような事業が行われているのか。

答 十勝地域と東京の台東区、墨田区共同で双方の地域資源を使いながら、食文化やスポーツ・アウトドアにおける新たな事業を展開していくもの。昨年度はコロナの影響で予定事業を実施できずに、オンラインクッキング教室や十勝産品を活用したメニューを開発して、東京都内の飲食店で提供いただいている。

他町村との交流事業

まつり振興事業補助金 75万円

◆補助金の効果は

問 どのような効果があったのか。

答 昨年度はコロナの影響もあり、上札内の花火の1件に対して補助している。地域住民からの協賛を得て、ボランティアとして活動されていて、地域づくりに貢献されている事業だと考えている。

村内行事への補助

地方バス路線維持対策補助金 829万円

◆補助金が上昇した要因は

問 地方バス路線維持対策補助金について、令和元年度に比べて増額となっているが、要因は。

答 大きな要因としては、コロナの影響による乗客数の減少である。また、乗客数の減少に伴って、国・道からの補助金がカットされている。

高齢者民間バス交通費 141万円

◆政策の効果は

問 高齢者に対する路線バス助成を昨年8月から始めているが、利用率は増えているのか。

答 昨年度の実績として、107人が利用されている。正確なことは分からないが、増えたのではないかと考えている。

コミュニティバス運行管理委託 907万円

◆コミュニティバスの利用状況

問 令和2年度のくるくる号の利用者は増えているのか。

答 市街地では1日あたり20名が利用していて、前年度とほぼ変わらない状況である。農村部では7名で昨年度より大きく減っている。今年度に入り、利用者は増えてきている状況にある。



9月定例会

令和2年度中札内村決算審査

決算認定審査での質疑の主なものを紹介します。

決算審査とは？

議会が、一会計年度の歳入歳出予算の執行実績である決算について、その内容を審査した上で、収入・支出が適法かつ正当に行われたかどうかを確認するとともに、各種資料に基づいて、その行政効果や経済効果を測定し、当該年度に何が達成されたかを住民に代わって審査すること。

審査の結果は後年度の予算編成や行政執行に活かされるよう行政に働きかける。

◆マイナンバーカードの使い道は

マイナンバーカード

問 マイナンバーカードの発行枚数は増えていて、身分証明書や確定申告等で利用できるが、他で利用できるものはあるのか。

答 今後、保険証などとして活用できるようになる。一部の自治体では行政手続きのオンライン申請や市町村で発行するサービスのカードと一体化しているところもある。他にはコンビニでの証明書の発行もあるが、今後検討していきたい。

◆村企画事業における配慮

子どもを育てやすい環境を

問 座談会等において子育て世代が参加しやすいように、子ども同伴を可能するとか、託児の希望をとってみては。

答 昨年度から託児の用意を始めている。
参加者からは好評をいただいている、今後も参加しやすい環境づくりを考えていきたい。



子育て世代包括支援センター

◆子育て世代包括支援センター（令和2年度新設）

問 相談や来所の利用状況は。

答 母乳相談や離乳食について相談がメインであるが、訪問件数が69件、来所数が55件、子育て支援センターへの訪問事業で10回、19名に対応している。

特定不妊治療費 71万円

不妊治療への補助

◆P Rはどのように

問 特定不妊治療費の助成について利用者が増えているが、どのようにP Rしているのか。

答 医療機関からの情報提供がメインになっている。帯広に不妊治療専門医療施設が開設されたことや国の助成が拡大されたことが利用者の増加の要因である。

新・元気な畑づくり事業補助金 428万円

新・元気な畑づくり事業

◆浸透ますの設置

問 浸透ますの設置について、令和2年度は5件と減ってきている。まだ、設置の希望者はいるのか。

答 希望者は少なくなってきた。アンケート調査では、3戸が4基設置したいとの希望がある。
今後、農業の発展方策のアンケート調査を行う予定で、引き続き、新・元気な畑づくり事業のメニューとすることか検討していきたい。

◆新しいメニューについて

問 新・元気な畑づくり事業のメニューについて、小規模土地改良事業に限定するのではなく、もう少し緩めても良いのでは。

答 現段階でも、耕地防風林の苗木に対しても補助している。小規模土地改良事業の枠に捉われない形で、農協と協議をしながら制度設計していきたい。

牧場管理委託 1億6,316万円

大規模草地育成牧場

牧場使用料 1億2,923万円（歳入）

◆委託料と使用料の差額を比較

問 大規模草地育成牧場の委託料が増えてきていて、使用料との差が3,000万円近くになってきているが、村としてどのように考えているのか。

答 牧場の運営に係る費用と使用料が当然イコールであるべきと考えている。酪農家の皆さんと十分協議をしながら、出来るだけ均衡が図れるような使用料の算定にもっていきけるよう努力をしていきたいと考えている。

飲食応援クーポン事業交付金 322万円

◆クーポンの使用率は

問 飲食店応援クーポン事業交付金について、使用率はどれぐらいか。

答 使用率は83.9%となっている。

道路維持補修工事 7,360万円

◆道路のクラック補修に対する検証結果は

問 道路補修に対して検証するということがあったが、検証した結果は。

答 業者と協議をした結果、一つの工法で全ての路線を修復できるものではなく、従前の工法しか打つ手はないのかなと考えている。また、コールドールで表面を埋めることにより砂利層、路盤への浸水を抑える効果があると考えている。

道路維持委託 3,633万円

◆もう少し広く除草を

問 道路の除草について、道路から1メートルぐらいまでしか除草をしていない。交差点では見えづらい、見通しが悪い箇所もあるが、対処方法はないのか。

答 年間、2回の除草をしている。現在、除草をしている小型ロータリー除草車では路肩部分と若干の法面までしか届かない仕様である。今後、道路維持業者と何らかの対策を取るよう協議していきたい。

浄化センター維持管理費 6,377万円【公共下水道事業特別会計】

◆浄化センター管理費の消耗品の増加要因は

問 決算額が昨年度と比べて大きく増額となっているが、増額となった要因は何か。

答 沈降剤の購入が大幅に増えていることが要因であり、約2倍になっている。解消するには、要因である浄化センターに入ってくる汚水の状況を改善、大口利用者に企業努力で解消してもらわなければならないかなと考えている。

◆避難情報の周知方法は

問 避難が必要な場合の村民に対する周知方法は。

答 情報無線、メール配信、LINEによる周知、広報車など、あらゆる方法で周知をしていきたい。

◆新型コロナウイルス感染の搬送は

問 新型コロナウイルス感染、あるいは疑いがある方で、緊急搬送された方はいたのか。また、保健福祉部門との連携はどのように行っているのか。

答 熱中症で搬送された方はいたが、新型コロナウイルスに感染し搬送された方はいない。また、保健福祉部門との連携については、保健所と消防局との連携の中で救急搬送の体制を整えて、搬送している状況にある。

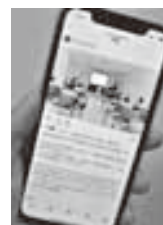
防災用備品 306万円

◆発電機の配置について

問 発電機を7台購入して、うち3台を各小中学校に配置したとのことだが、避難場所等には配置されているのか。

答 避難所が開設された段階で、発電機を配置するようにしている。

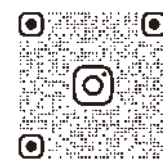
Topic!
#中札内消防署
インスタグラム開設



決算審査では防災に関する質疑がいくつかありましたが、本村での防災意識強化に向けた取り組みを紹介します。

中札内消防署ではSNSを用いて防災情報等の発信をしております。

QRコードをお手持ちのスマートフォンのカメラで読み込んでいただければスムーズにフォローができます。



NKASYOUBOU

◆利用状況は

問 多目的運動施設の現在の利用実績について確認したい。

答 年々利用は増えている。主にゲートボール協会の利用であるが、保育園のサッカー教室、野球少年団、サッカー少年団などが利用している。

誰ひとり取り残さない教育へ

G I G Aスクールサポーター派遣委託 268万円

◆具体的なサポート内容は

問 G I G Aスクールサポーター配置支援事業の具体的なサポート内容は。

答 各学校にタブレットが配置されたことから、教職員に対する操作研修や操作等の打ち合わせ、タブレットの設定、活用マニュアルの作成などを行っている。



安心・安全な教育環境を

メール配信システム使用料 13万円

◆メール配信の活用状況は

問 昨年度は臨時休校等もあり、メール配信が有効に活用されていたと思うが、具体的な活用状況は。

答 臨時休校、コロナの関係、雪の関係、不審者情報などで有効に活用できている。また、学校ごとの配信もでき、中学校では部活動単位でも配信が可能である。

エアコン設置工事（3校分） 115万円

◆教室へのエアコン設置は

問 各学校の保健室にエアコンを設置したとのことだが、他の町村では全教室にエアコンを設置する動きもあるが、第7期まちづくり計画では検討しているのか。

答 第7期まちづくり計画においては、各学校の改修について、いつ行うか協議をしていない。将来的には改修時に入れていかなければならないと思っている。

スクールバス運行管理費 2,560万円

◆スクールバスの更新は

問 スクールバスについて、一番古いバスでは導入後20年ぐらい経過している。更新予定について確認したい。

答 本来であれば更新の時期に来ているかもしれないが、走行距離が普通の路線バス等と比較すると、まだ大丈夫な状況であることから、購入を計画していない。修繕で対応している状況である。



長寿車両のこれから

校務支援システム使用料 223万円

◆校務支援システムの評価は

問 今年度導入した校務支援システムについて、教職員が使ってみての評価は。

答 導入してまだ1年ということもあり、単純な業務については問題なく使えているが、統一的に使えていない部分もあり、今後委託業者と調整して、使い勝手のいいものにしていきたいと考えている。

教職員の働き方改革

環境性能割交付金 654万円

◆環境性能割交付金の減少要因は

問 環境性能割交付金が当初予算に比べて大きく減額となっているが、要因は何か。

答 自動車の販売台数が減ったことによるものである。また、ハイブリッド車や電気自動車など環境性の高い自動車についての税率が低いことも要因である。



国庫補助金の歳入状況

本会議で決算認定審査の結果、各会計決算は可決され認定されました。
決算質疑の内容が、本年度の事業及び令和4年度予算へ反映され、よりよいまちづくりへと発展するよう、議会としても引き続きチェック機能を発揮していきます！

一般質問（5人の議員が登壇！）

一般質問 とは？

議員が村政全般にわたり、執行機関（村長・教育長）に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、疑問点をただすことです。

年4回開かれる定例会でのみ行われます。

- ・ 質問者が一括質問方式、もしくは一問一答方式を選択します。
- ・ 1人につき90分の時間制限があります。
- ・ 原則として、通告書の提出順に質問します。

※議会だよりでは、紙面の都合により内容を要約して掲載しています。
詳しい内容は YouTube での議会中継や、会議録をご覧ください。

ときわ野地区周辺の 交通アクセス状況について

大和田議員 交通問題の解決を

森田村長 村内では十分恵まれた地域

この周辺は生活環境が整っており人気の分譲地となっています。現在100世帯約350名が暮らす団地となっていますが、市街地へのアクセスの不便さに対し以前より行政から要望が挙がっており、どのような取り組みがされてきたのか伺います。

①保育園側に行くため国道を横断する人がおり大変危険な状況にある。横断歩道と信号機設置の予定は。

②プールから国道までの遊歩道整備の予定は。

③今後高齢者や高校生が増加していく中で、第3、4分譲地側にバス停の設置要望がされているがどのような状況にあるのか。

〈大和田議員〉



この地域は本当に不便なのか、村全体を見ると十分恵まれている。利便さはリスクと背中合わせでもあるので、難しい問題である。

②遊歩道設置は出来ないこともないが、整備を行うと国道を渡って良いという扱いになってしまう。

③バス停の設置については、バス待合場所の確保が条件であり、国道の歩道整備が整った後に検討するが、今のところ歩道整備の予定はない。

①横断歩道と信号機は一体で進める必要があり、横断者数や交通量、今ある信号機から距離が条件を満たしておらず設置は困難である。

〈森田村長〉

村の歴史・伝統・文化について

北嶋議員 温故知新のまちづくりを

上田教育長 次代に継承させていく

〈北嶋議員〉
昨今の村づくりにおいて、昔の歴史・伝統・文化は失われていってしまうと心配しています。村としてはどのような考えでいるのか伺います。

〈上田教育長〉
歴史・伝統・文化を後世へ継承するためには、地域の人々がその価値を十分に理解し、世代を超えて後世に残したいという意思が形成され、共有されていることが必要です。

「新しい施設を整備するだけではなく、地域の歴史を生かしたまちづくりをしてほしい」との意見が出されてきたことから、開拓記念館や文化創造センターの整備では開拓当時の生活や自然空間の保存に努めています。



先人の営みを伝える歴史、文化などが、村民に理解され、今後のまちづくりにつながり、今を超えてさらにこの先も次代に継承されていくよう取り組んでいきたいと考えています。

〈山崎副村長〉

答弁書に記載したような視点を持ち続けることが重要だと感じました。

村の歴史を知らない若い職員に対して研修の機会を設けながら、村の歴史を振り返る時間も設けていくことも必要かなと思います。

まちづくり基本条例でも村民参画が重要、情報提供を含めて情報共有することが非常に重要だと記載しています。村民参画の手法についてはこれまで

以上に意を配って参りたいと思います。



子どもたちへの安心・安全の給食の提供について

木村議員 食物アレルギーのお子さんへの対応は

森田村長 アレルゲン食材不使用献立の工夫に努める

〈木村議員〉
現状では給食での除去食等の提供は難しいとのことですが、次の点について伺います。

①村では令和元年10月より保育料や副食費が無償化されています。食物アレルギーを持つ園児は給食にアレルゲン食材が入る日は副食を持参していますが、費用の補助等を行う考えは。

②学校給食調理場改修時にアレルギーに対応できる施設整備にする考えは。

〈森田村長〉
①国の無償化の基準では一部実費徴収できますが、村では副食費は保育料に含むものとして徴収していません。

保育園では給食提供日が月18日ほどのところ、アレルゲ



ン食材を使用せず皆が同じ給食を食べられる日を12日程度設定しています。しかし持参する日もあり、一部の方に手間と負担を感じさせているかもしれません。様々な福祉サービスを提供する上で副食費の補助を含め、行政が村民の負担すべてに対応する事は困難です。可能な限り園児たちが同じ給食を食べられるよう努めるとともに、食材の多様性も維持していきたい考えです。

〈上田教育長〉

②アレルギー対応の調理ラインを設けるには全面改修・増築しなければ難しい状況で、当面は「除去」と「代替食の持参」により学校と保護者で協議しながら対応していきます。



新庁舎周辺への 公衆電話ボックスの設置について

船田議員 通信弱者の救済を

森田村長 設置の予定なし



〈船田議員〉

現在、新庁舎周辺に公衆電話ボックスが見当たりませんが、東一条道路は村民の生活道路であり、児童や生徒の通学路でもあります。防災、防犯上及び高齢者など携帯電話を持たない弱者救済の観点から、伺います。

今後、東一条道路歩道私たちは、敷地内への公衆電話ボックスの設置について検討されていますか。見通しや考え方について、伺いたいします。

〈森田村長〉

本村には設置の基準はありませんが、総務省では「市街地においては、概ね500メートル四方に1台」の設置基準があります。現在、旧役場庁舎前国道には国が設置した



公衆電話ボックスがあり、新庁舎周辺は基準距離内となることから、移動や新設は難しいと判断しています。国の設置基準を「1キロメートル四方に1台」に緩和することを検討しており、最低限の通信手段として全く無くすることはないまでも減少させる方向にあります。

学校側では危険な状況に遭った時は、公共施設等の「子ども110番の家」に避難する指導を行っており、既にリンク電話を設置しているなど対策を講じています。

現在の通信手段の整備状況や安全対策の取組状況から、公衆電話を増設する必要性は低いと判断しており、新庁舎周辺への公衆電話ボックス設置は考えておりません。

今後の配偶者対策の 取り組みについて

宮部議員 今後の取り組みは

森田村長 工夫を凝らし婚活支援



〈宮部議員〉

配偶者問題は個々人の考え方もあり難しい面もありますが、少子化・人口減少・行政区・産業衰退につながる大変重要な問題と私は考えております。

村も8月4日に帯広信用金庫と「出会いの場創出の連携に関する協定」を締結され、「おびしんキューピット」の利用促進が期待されますが、村としては利用促進に向けてどのように関わるのか、さらに今後、村独自の配偶者対策に取組む考えはないのか伺います。

〈森田村長〉

平成26年以降、農業担い手育成センターが中心となりカップリングパーティー方式で、

出会いの場づくりと交際のきっかけづくりの場を設けております。

令和元年度からはパーティー方式を見直し、友達関係から交際へとつながるよう内容を見直し取組みを行なっております。

コロナ禍が落ち着いた段階で、さらに工夫を凝らしながら婚活の取組みを実施したいと考えております。

さらに、真に結婚を望む方が、交流会方式にこだわらず婚活ができる環境づくりが必要という意見を踏まえ、帯広信用金庫との「中札内村出会いの場創出事業」の連携に関する協定書を締結したところです。今後はあらゆる職業の方に利用していただけるよう、積極的なPR活動に努め、安心して婚活をできるような環境づくりを努めてまいります。



9月定例会 補正予算・報告・選任同意など

歳入・歳出それぞれに、一般会計で3248万円の追加、介護保険特別会計で1207万円の追加、簡易水道事業特別会計で156万円の追加、公共下水道事業特別会計で774万円の減額補正がされました。
補正内容と質疑の主なものを掲載します。

9月9日

歳入

企業版ふるさと応援寄附金

300万円

本村にゆかりのある企業から、道の駅改修事業に対する寄附があったもの。

問 内容について、詳しく説明いただきたい。

答 この制度は、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して、企業が寄附をした場合に法人関係税から税額控除される制度である。一般のふるさと納税とは違い、基金に積立するわけではなく、一般財源として道の駅の改修事業に充てるとなる。

歳出

まちづくり推進費

六花の森イベント事業補助金

△752万円

イベント中止に伴い減額するものであるが、開催に向けて取り進めてきた経費と次年度に向けてテストを実施した経費を差し引いたものを減額するもの。

新型コロナウイルス

ワクチン接種事業費

新型コロナウイルス

予防接種業務委託

471万円

ワクチン接種体制確保委託

134万円

国庫負担金交付要綱において時間外接種を行った場合の接種費用が上乗せされたこと、接種体制の変更による物品、消耗品等の購入に伴い委託料を追加するもの。

問 今後、12歳となる児童に對しての接種方法は。

また、接種を検討していた方たちで接種を受けたいと希望された方の手続き方法を確認したい。

答 年度内に誕生日を迎える児童には、その月の初めに接種券を送付する予定である。10月は診療所で接種できるよう取り進めているが、11月以降については、余剰ワクチンを融通するスキームが検討されていることから、診療所で接種できるか今後検討していく。

また、今後接種を希望された方への対応は12歳を迎えた児童への体制と同じ対応になるかなと思うが、検討中である。



火葬場管理費

修繕料

117万円

火葬場裏口のドア等を修繕するもの。

農業振興推進費

堆肥化処理施設舗装補修工事

130万円

堆肥化処理施設の原料施設前舗装工事、原料施設内コンクリート補修を行うもの。

問 今回は応急的な補修ということだが、次年度以降に改修をしていかないとならないと思うが、改修方法は。

答 原料処理施設から7m前後までの路盤修繕を検討している。時期は令和4年度当初予算で計上したいと考えている。

堆肥化処理施設修繕工事

704万円

堆肥化処理施設の発酵施設の建築養生ネットの敷設、第1次発酵施設の屋根雨漏りを修繕するもの。



堆肥化処理施設

土地改良事業費

道営担い手畑総事業札内川

右岸北部地区負担金

160万円

事業主体である北海道において、農道工及び区画整理等の工事業費の精査に伴い追加するもの。

道営担い手畑総事業札内川

右岸南部地区負担金

△160万円

事業主体である北海道において、単独除礫等の工事業費の精査に伴い減額するもの。

牧場管理費

修繕料 214万円

除糞に係る作業効率の向上を図るために、堆肥舎前の通路路盤及び育成舎パドック支柱を修繕するもの。

牧場用備品 1100万円

草地の施肥作業に係るヘリコプター散布費用の削減を図るために、クローラトラクターを購入するもの。

問 リースや中古車の購入は考えられないのか。

答 フルキャタピラとなると、リースや中古車で程度の良い物は見つからない。

道の駅関連施設管理費

修繕料 63万円

豆資料館の暖房ボイラーが破損したため、修繕を行うもの。



道路改修費

調査設計委託 148万円

橋梁点検の結果、早期に補修措置を講じるべき橋梁があり、次年度に補修工事を行うための詳細補修設計を行うもの。

村営住宅管理費

修繕料 256万円

当初の見込みより設備交換が増えたことから追加するもの。

配水池維持管理費

修繕料 231万円

南札内浄水場に隣接する高区第2配水池の水位計が老朽化により故障し、取替修繕を行うもの。

下水道事業費

下水道調査設計委託 1600万円

終末処理場最終沈殿池更新工事の取りやめにより余剰となる社会資本整備総合交付金を活用するために、次年度に予定していた実施設計を振り替えて実施しようとするもの。

工事請負費 △2400万円

下水道の水質悪化の状況が改善されないことから、終末処理場最終沈殿池更新工事を見送ることとしたことから減額するもの。

問 見送った工事の今後の対応は。

答 この間、状況が良くなったり、悪くなったりを繰り返していて、原状回復が見込めない状況にある。対処方法を業者と検討し、この問題が解消されてから工事の実施と考えている。



9月17日

歳入・歳出それぞれに、一般会計で138万円の追加補正がされました。補正内容を掲載します。

診療所管理費

修繕料 138万円

給湯用減圧弁の故障と配管の老朽化によるサビの剥離、給湯循環ポンプの漏水が発生したことから修繕するもの。

選任同意

公平委員会委員

榎 志津子 氏

知本 正幸 氏

高木 達彦 氏

の選任に同意しました。

固定資産評価審査委員会委員

松村 則行 氏

の選任に同意しました。

教育委員会委員

川田 一幸 氏

中西 朋尋 氏

の選任に同意しました。

報告

令和2年度中札内村健全化

判断比率及び資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定により報告するもの。



●継続費の継続年度終了による精算

役場新庁舎建設事業に係る継続費の継続年度が終了したことから、地方自治法施行令第145条第2項の規定により報告するもの。



意見書

●義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書の採択を求める請願

提出者 中札内村地区連合会
紹介議員 木村 優子
結果 採択

★同趣旨の意見書を関係大臣並びに関係機関に提出しました。

●コロナ禍による厳しい財政

状況に対処し地方税財源の

充実を求める意見書

●国土強靱化に資する社会資

本整備等に関する意見書

提出者 宮部 修一

賛成者 中西 千尋

★意見書は採択となり、関係大臣並びに関係機関に提出しました。

土地改良事業計画

畑地かんがい施設に係る土地改良事業計画について、土地改良法第96条の2第2項に基づき、可決しました。

◆事業名

基幹水利施設管理事業

◆対象地区

札内川第1地区及び第2地区

◆対象施設

札内川頭首工 1箇所

札内川導水路 6980m

第4回臨時会 (7月8日)

2期目の森田村政 中札内高校生育成支援金条例、政策予算を審議

令和3年度の予算編成について

本来、予算はその年度のすべての歳入、歳出で編成されるものですが、村長選挙が行われる年度は、予算編成時期に政策的な判断ができないため義務的経費（人件費、消耗品費）や継続的事業を中心に計上し、政策的な新規事業は計上せずに編成するのが基本です。このような形で作成される予算を**骨格予算**といいます。

村長選挙が終わった後速やかに、投資的事業等の政策的経費（新たな行政サービス開始による経費など）について十分な検討を行ったうえ、直近の議会に補正予算として計上します。この予算を**政策予算**といいます。

政策予算は、通称「**肉付け予算**」とも呼ばれます。改選期の予算は「骨」と「肉」。これで覚えましてね！

補正予算計上とともに、新しい行政サービス開始に係る条例の改正・制定なども行います。



7月8日(木) 開会
会期 1日
審議案件 議案2件
(原案可決)

条例の制定

◆中札内村高校生支援金条例

の制定

高等学校等へ就学する保護者の経済的負担の軽減と教育、子育て環境の充実、村を担う人材育成を目的に、保護者に対して生徒1人当たり月額1

万円を支援するための条例を制定したもの。

問 公約である「高校生の就学支援事業の新設」に合致するものなのか。

答 合致するものである。

問 支援金の金額を1万円にした理由は。

答 政治的な判断で、一定程度通学費等の負担を減らせる金額として1万円とした。

問 支援金の財源は。

答 財源は教育振興基金に積立てようと考えている。



最低でも10年程度は事業を実施できる額として1億円から1億2000万円を2、3年をかけて積立てていきたいと考えている。財源はふるさと応援寄附金を想定している。

補正予算

※主な内容と質疑

防災無線管理費

備品購入費（戸別受信機）

583万円

戸別受信機の在庫が残りわずかになってきていることから購入しようとするもの。

社会福祉一般経費

恵津美ハイツ

ベッド更新補助金

200万円

恵津美ハイツの介護用ベッド更新に対して補助するもの。

商工振興費

宿泊助成事業交付金

175万円

泊まろう中札内村宿泊費助成事業の増額を行うもの。

ワーケーション普及促進

事業交付金

428万円

新型コロナウイルス感染症対策としてワーケーションの普及促進を図るため、宿泊助成及びレンタカー助成を行うもの。

問 この事業は農村休暇村の利活用についての支援をしていくという事業なのか。

答 中札内村でワーケーションをしてもらうための後押しをする事業である。実証事業で農村休暇村と連携していくものである。

道の駅関連施設管理費

電気自動車用急速充電器

設置負担金

575万円

道の駅に電気自動車用の急速充電器を設置する民間事業者に対して支払う負担金を追加するもの。

問 急速充電器を設置する目的は。

答 また、基本料金等を村が負担するということが、収入は何かあるのか。

答 年間70万人近くの方が来られる道の駅の利便性を向上させるということが目的である。

また、今回設置する民間事業者から、金額は確定していないが、還元される制度になっている。

問 25kWと50kWでは基本料金に約7倍の差があり、50kWタイプの充電器が本来に必要なのか。

答 道の駅に急速充電器を設置することで、様々な経済効果、観光を含めた中札内村のブランド価値の向上に大きく寄与すると考え、安い費用に飛びつくのではなくて、将来的なメリットを長い目で見て、必要なものを投資すべきではないかと考えて、このような提案になった。

公園管理費

桜六花公園駐車場整備工事

1483万円

桜六花公園に駐車場整備を行うもの。

問 年間、何日も使わない所に1500万円もかけて、駐車場を整備する必要があるのか。また、他の場所は検討したのか。

答 最低でも、イベント以外に桜を見にいただいている方が駐車する場所を確保しなくてはならない。

高額であることは理解しているが、凍上防止等の対策をした駐車場を整備しようとする、この金額がかかってしまう。

また、公園の北側などを検討したが、断念している経過がある。

教育委員会事務局費

高等学校就学支援

対策事業補助金

1152万円

高校生育成支援金条例に基づき、高校生の育成に対して支援を行うもの。

中札内小学校管理費

外部塗装・屋上防水等

設計委託

1265万円

校舎及び屋内運動場の改修に伴う設計委託を行うもの。

文化創造センター管理費

可動席修繕工事

1872万円

可動席の劣化部品の交換修繕を行うもの。

反対討論（北嶋議員）

桜六花公園の駐車場を整備することには賛成だが、駐車場整備予定地にある木を植えた人の気持ちもわからず切ってしまうのはもう少し考慮してあげるべきだ。今の提案状況の中では反対。

桜の見学のみではない、何らかの形の公園利活用を考えてもらいたい。

賛否一覽

（賛成○ 反対●）

木村	優子	○
中西	千尋	○
黒田	和弘	○
大和田	彰子	●
北嶋	信昭	●
船田	幸一	○
宮部	修一	○

採決の結果、賛成5反対2で、原案どおり可決しました。

第5回臨時会（7月28日）

7月28日（水） 開会
会 期 1日
審議案件 議案4件
（原案可決）

条例の改正

◆中札内村手数料徴収条例の一部改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正により、地方公共団体情報システム機構が個人番号カードの発行主体として位置づけられ、発行に係る手数料の徴収事務を市町村長に委託することが可能になり、本村条例に規定する手数料の徴収根拠が不要となることから、本村条例の一部を改正するもの。

マイナンバー



財産の取得

◆街路灯・防犯灯購入業務

街路灯・防犯灯の照明をLED照明への取替を行うため、北海道市町村備荒資金組合防災資機材譲渡事業により、3795万円に年金利0.1%を加え、令和7年度までの債務負担行為によりLED照明の取得を取り進めるもの。

問

節電のため1灯点灯となっていた国道沿いの街路灯は、2灯点灯となるのか。

答

今回のLED化により、すべてを点灯させる考えである。



問

上札内地区の街路灯の3か所が切れている。取替の際に切れている場所から取替を行ってもらえるのか確認したい。

答

業者と打合せを行い、早めに取り換えるようにしていきたいと考えている。

工事請負契約

中札内浄化センター

計器盤更新工事

1億4080万円

令和4年3月10日までの工期で、大昭電気工業株式会社と工事請負契約することを可決しました。

中札内浄化センターにおける中央監視装置更新に伴い、工事対象機器の計装変換基盤1面、LCD監視装置一式等の更新を行うもの。

補正予算

※主な内容と質疑

総務一般経費

産業廃棄物処理委託

207万円

旧役場庁舎、農村環境改善センターなどから排出した備品等を産業廃棄物として処理するもの。

問

役場庁舎等の備品、消耗品等を産業廃棄物として処理をしたいということだが、処理の内容について教えていただきたい。

答

金属類は鉄くずとして売却し、払いをする。処理できないものを産業廃棄物として処理委託するものである。

社会福祉一般経費

障がい者グループホーム

施設整備補助金

2389万円

ポロシリ福祉会の障がい者グループホーム「かしわ荘」の老朽化に伴う建替えのため、補助金を交付するもの。なお、特定財源として、福祉基金を充てる。

問

かしわ荘移転に関して、地域住民に対する地域説明会は行われているのか。

答

上札内と2区の区長に説明をしていると聞いている。行政区の住民には区長から説明をし、特に意見は出さ

れなかったと聞いている。

土地改良事業費

道営農道整備特別対策事業

中島地区負担金

450万円

中島東5線道路路肩拡幅工事における年度内の予算調整に伴う事業費の増加によるもの。

とかち広域消防事務組合費

とかち広域消防

事務組合負担金

18万円

J A 共済連から高規格救急車の寄贈を受け、高規格救急車に対する機装及び救急資機材等の整備をするにあたり、必要な経費を負担金として支出するもの。

問

車体以外の機材等にかかる費用はどれくらいか。

答

約2200万円程度の予定。



総務厚生常任委員会

産業文教常任委員会

村内合同所管事務調査

8月19日（木）に堆肥化処理施設と大規模草地理育成牧場を調査しました。

★堆肥化処理施設

施設内通路及び発酵施設の管理状況について調査しました。

原料施設と発酵施設の間の施設内通路は、路盤材が50cm、敷地全体が盛り土であることから、冬場の凍上の影響もあり、舗装の凹凸が激しく、特に原料施設前はかなり低くなっており、作業に支障が出ている状態にある。雨水ますの周辺についても、冬場の凍上等の影響により陥没し、現在は機能していない状態であることを確認しました。

また、発酵施設の天井に設置しているタイトフレームが、腐食により落下し、今後も落下が続く状況にありました。施設内通路の修繕については必要であると考えますが、修繕工事の内容、方法を精査して、工事費の軽減に努めていただくことを望みます。

また、発酵施設の修繕については、人命に関わることであることから止むを得ないと考えるが、今後も適正な管理に努めていただくことを望みます。

★大規模草地理育成牧場

パドックと堆肥舎間の通路の状況について調査しました。パドックと堆肥舎側が低く、堆肥舎との間に段差が生じており、現状では、糞尿をパドックから直接堆肥舎にホイールローダで押し出せない状態にあります。

修繕は、大規模草地理育成牧場の適正な管理には必要な修繕であると考えるが、今後も引き続き適正な維持管理に努めていただくことを望みます。



産業文教常任委員会

村内農作物作況調査

実施日 9月7日（火）
調査の内容

村農業委員会との合同調査は、新型コロナウイルス感染症予防のため中止し、十勝農業改良普及センターの作況調査資料を基に、本年の作柄について、委員による検討を行いました。

小麦は稈長、穂長は長いものの穂数が少なく、収量不足が心配されたものの、収穫作業が短期間の7日で順調に進み、収量は前年を165kg上回りました。

豆類では、小豆は7月中旬の高温による花落ち、8月上旬の多雨により徒長傾向にあるため、収量は平年を下回る見込み。大豆、手亡は茎長と莢数が並か多く、収量は平年以上の見込み。金時は小粒やしわが目立ち、7月の高温により葉が焼ける症状が見られたことから、平年を下回る見込み。

馬鈴しょ（澱原専用品種）は、収量、澱粉価ともに前年を上回る見込み。

てん菜は、7月中旬から下旬の高温により、生育が緩慢になったものの、8月の降雨により回復し、収量は平年以上の見込み。



議会広報モニター任命式

9月7日（火）に議会広報モニター任命式を役場会議室で開催しました。議長から委嘱状の交付をした後、議会広報モニターの役割などについて説明をしました。

氏名	行政区
北村 美佐	6区
金田一 良彦	2区
佐々木 順子	めぐみ区
砂田 仁司	上札内
竹田 孝行	西戸蔭
中山 千代子	ときわ野
藤村 鮎美	6区
山口 円	東戸蔭

次の定例会は12月です

日程が決まりましたら情報無線等でお知らせします。
議会中継はYouTubeで配信しています。
（「中札内村議会」で検索！）



右記のQRコードより
アクセスできます。

議員のひとこと

これからの人生を楽しみたい

来年で自分も74歳になり後期高齢者。ジイサンになったが、自分としてはまだまだ元気で、74歳だとは思っていない。

十数年前から趣味として始めたのが、コマイ・チカ・ニシン・アカアジなどの海釣りや広尾・大樹港での釣り。そして自分の愛車は中古で買ったトヨタ・ランドクルーザープラド3000で、現在25万キロを突破。1週間は生活ができるように、車内には蓄電池・小型冷蔵庫・ガスコンロ・鍋などを完備し、助手席をベッドにしている。

今年は知人に誘われて、瀬棚でホッケ釣りに初挑戦。風が強く釣りのポイントも分からず、森町・余市町・小樽市にも行ったが何も釣れなかった。残念でならない。

帰ってきてから色々と考え、これからは釣りだけでなく、北海道での釣りや旅を通じ、人と出会い、色々な話をして、色々なことを楽しもうと思った。これから何年元気でいられるかわからないが、『釣れなくてもいい、でも釣れたら、なおよしい』。この気持ちで、愛車50万キロ突破を目標に、自分も元気で残り少ない人生を大いに楽しみたい。

（北嶋 信昭）